

令和7年度 第12回中郷区地域協議会次第

日 時:令和8年3月23日(月)18時～

場 所:中郷コミュニティプラザ ホール

1 開 会

2 報 告

- ・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）について
（資料No.1～3）

3 協 議

- (1) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
（資料No.4・5）
- (2) 令和7年度活動報告会の振り返り（資料No.6・7）
- (3) 自主的審議事項「い～住プロジェクト」について（資料No.8）

4 その他

- ・令和8年度4区地域協議会委員合同研修会の開催日について

5 閉 会

上越市公共施設等総合管理計画に 基づく取組の対応（案）

- 1 公の施設の適正配置について
- 2 公の施設の適正管理について
- 3 公の施設の受益者負担の適正化について

令和8年3月23日
財務部 資産活用課

上越市では、平成27年度に策定した「上越市公共施設等総合管理計画（それ以前は行政改革推進計画等）」に基づく取組として、次の取組を継続的に実施

1 公の施設の適正配置

- 合併前の市町村では、小中学校や行政庁舎などの基礎的サービスを提供する施設、生活の質を向上させる文化・スポーツ施設、地域活性化のための観光・農林水産業施設などをフルセットで整備
- 市町村合併以後、施設の老朽化、利用者数の減少、市民ニーズの変化などを踏まえ、定期的に機能集約による施設の統合や設置目的を達成した施設を休廃止
- 市町村合併時に約1,000あった施設数は、令和7年4月時点で612施設まで減少したが、老朽化や利用者の減少が進む中で、機能集約が進んでおらず未だ多い状況

2 公の施設の適正管理

- 集会施設やスポーツ施設などの開館・閉館時間は、市町村合併時に、原則として合併前上越市の施設を基に統一
- 以後、施設の利用状況等を踏まえ、随時、開館・閉館時間、休館日、管理手法（職員常駐、指定管理者制度の導入）などを見直してきたが、統一的な見直しは進んでいない状況

3 受益者負担の適正化

- 施設の使用料等は合併後3年以内に調整、減免基準は合併前上越市に統一
- 以後、適正な受益者負担になるよう、定期的に見直しを実施しており、今回の見直しはその一環（前回の見直しは令和2年度）

Ⅱ 公の施設に関する現状、問題、対応方針

現状	問題等
類似施設を多数保有	施設利用の分散 ⇒ 施設稼働率の低下 ⇒ 維持管理経費の増加
施設の建設から年数が経過	施設・設備の老朽化、施設機能の陳腐化 ⇒ 投資修繕・維持管理経費の増加 ⇒ 利用者数の減少、使用料等の減少
人口の減少、趣味の多様化	利用者数の減少 ⇒ 施設稼働率の低下 ⇒ 使用料等の減少
物価高騰、労務費上昇	投資修繕・維持管理経費の増加
市財政状況の悪化	一般財源の減少 ⇒ 全ての施設を維持するのは困難
受益者負担の不均衡	維持管理経費に対する受益者負担割合の低下 ⇒ 施設未利用の市民を含む税負担の増減免適用の拡充による利用者間負担の不均衡 ⇒ 減免利用と非減免利用の差の拡大
施設面でのまちづくりの不透明	残す施設（機能）ではなく、廃止する施設を検討 将来的に存続する施設（機能）が不明確 適正配置等の取組に対する市民感情への配慮
働き方改革の推進	施設管理従事者への配慮 ⇒ 週休1日以下の施設も多数ある

対応方針
<p>【公の施設の適正配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的サービス施設（集会施設やスポーツ施設等） …施設機能の集約、休廃止 ・ 政策的サービス施設（温浴・宿泊施設、観光施設や農業体験施設等の地域振興施設等） …設置効果が低下している施設等を休廃止 <p>※将来的に必要な施設は存続するまちづくりの観点での取組（地域振興・コミュニティの維持に留意）</p>
<p>【公の施設の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開館時間や休館日の見直し ・ 管理人常駐の見直し
<p>【公の施設の受益者負担の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料等の見直し ・ 減免基準の見直し

Ⅲ 公共施設等総合管理計画に基づく取組

人口減少など社会経済情勢が変化する中において、本市では類似施設を多数保有しているほか、類似のサービスを提供する民間施設の進出等により、当初の目的と異なる利用実態となっている施設や、有効な利活用に至っていない施設を抱えており、また、その対応策が十分に図られていないことから、「将来負担の軽減」を念頭に、次の視点を持って取り組むこととする。

- 市民ニーズ（利用動向・利用実態）を踏まえつつ、施設（建物）の性能だけではなく、施設の本来目的・サービス・機能に着目し、人口や財政規模などを考慮した最適な量と質の確保の観点から、将来の施設面でのまちづくり（施設配置の在り方）を見据えた適正配置を行う。

【公の施設の適正配置】

- 老朽化等により施設の機能維持が困難になった場合や地域社会の状況変化によって施設の必要性が著しく低下した場合は、その時点で関係者と協議し、改めて施設の方向性を検討する。

【公の施設の適正配置】

- 存続させる施設については、利用実態にあわせた開館時間や休館日の設定、施設職員の常駐の必要性を検討し、サービスの低下を最小限に抑えた上で、最大限の効率的な管理運営を行う。

【公の施設の適正管理】

- 施設の運営及び管理に係る費用は、施設利用者の使用料等で一部が賄われているが、その大半は施設を利用しない人を含む市民全体の税により負担されていることから、受益と負担の公平性や公正性を確保し、市民から理解が得られる合理的な使用料等の設定を行う。

【公の施設の受益者負担の適正化】

1 公の施設の適正配置

使い続ける施設や機能を検討。残すべき機能でも可能な限り使い続ける施設に集約。使い続けない施設は休廃止や民間の利活用を検討。総合管理計画に基づく取組により、使い続ける施設の長寿命化等に要する費用を捻出

(1) 令和8年度

前期計画（令和3年度～7年度）で取組が遅延の施設の休廃止を検討

(2) 後期計画（令和9年度～12年度）

政策的サービス施設を中心に、基礎的サービス施設であっても当初の設置目的と異なる施設や有効な利活用に至っていない施設のほか、市民にとって必需性が相対的に低く、財政寄与度が大きい施設（現在及び将来的に経費負担が大きい施設、費用対効果が低い施設、市街化区域内にあり民間利活用が可能な施設など）を抽出し、休廃止等を検討

(3) 次期適正配置計画（令和13年度以降）

将来（20年後）を見据えた基礎的サービス施設の抜本的な機能集約
検討に当たっては、令和9年度以降に地域の皆さんと複数年かけ、十分な協議を行い、各地域の将来を見据えて使い続ける施設や機能集約を検討

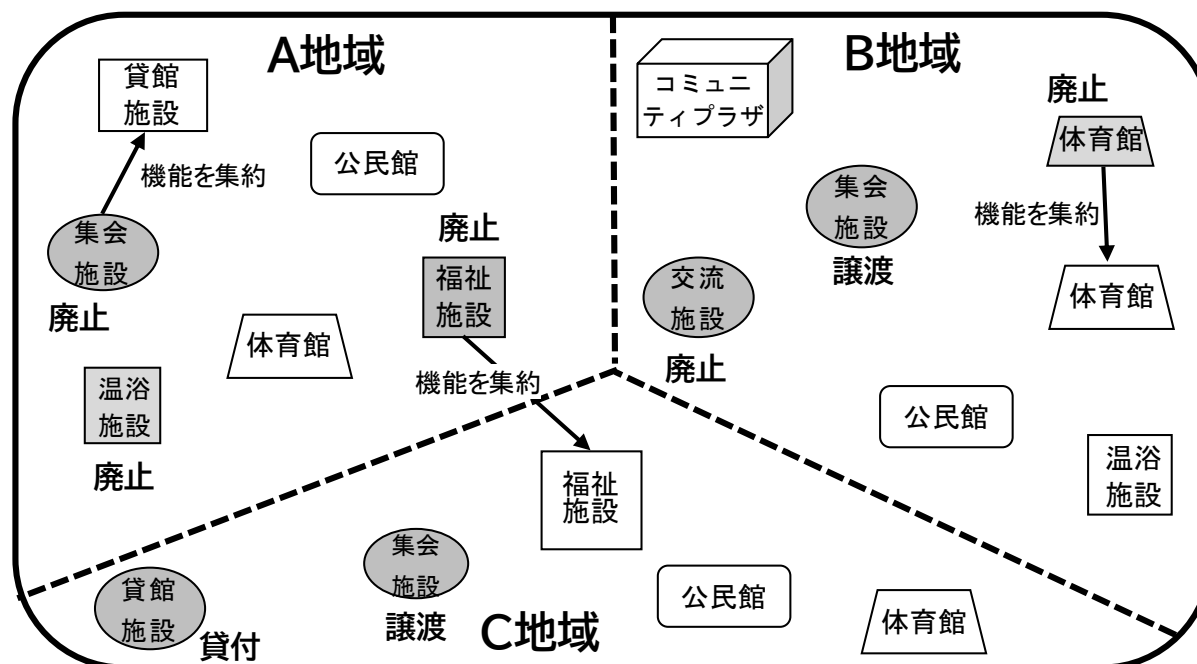
【公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応（案）】

「第4次上越市公の施設の適正配置計画（令和3年度～令和12年度）」における配置バランスの（圏域別の配置を検討）のイメージ

施設の適正配置を検討するに当たっては、施設の用途や機能、利用圏域（施設の利用者の居住地域）等を踏まえ、該当するカテゴリーの各施設を「広域拠点施設」、「市域拠点施設」、「地域圏拠点施設」、「生活圏拠点施設」、「コミュニティ圏拠点施設」に区分します。

また、それぞれの区分において、各カテゴリーにおける施設の配置バランスの検討を行います。

「地域圏拠点施設」及び「生活圏拠点施設」については、地域のまとまりや居住状況のほか、カテゴリーごとの施設の配置状況等を踏まえ地域区分を設定します。



2 公の施設の適正管理

利用実態（需要）にあわせた施設の開館時間や休館日、管理手法の見直し（サービス水準の低下の回避や管理運営に従事する施設職員等の時間外労働の上限規制や年次有給休暇の取得などの働き方改革を考慮）

- 施設の開館時間は9時～21時を基本とする。屋外施設は日の出から日没までを基本とする。
- 休館日は週休2日、最低でも週休1日を基本とする（近隣の施設と休館日の設定をずらし、一定のエリアで利用可能な施設があるように配慮）。
- 平日昼間や夜間などの稼働率が低い時間帯や、冬期間等の閑散期は、休館を検討する。
- 施設職員等の常駐の必要性を検証し、予約制や鍵管理の導入により非常駐化を検討する。

3 公の施設の受益者負担の適正化

(1) 使用料等の見直し（医療費や保育料等、法令で定められているもの等は除く。）

「公の施設使用料等の算定に係る基本方針」に基づく定期的な使用料等の見直し（激変緩和は原則1.5倍以内、貸館施設やスポーツ施設などの基礎的サービス施設は、利用者の負担増に配慮し1.1～1.2倍）

- 市内の同種同様の機能を有する施設で価格差が大きい場合は、平準化も検討する。
- ただし、前項の市内施設の平準化や他市町村の類似施設の使用料との価格差が大きい場合などは、これを超える改定額の設定も検討する。

(2) 減免基準の見直し

適正配置、適正管理、使用料等を見直しを踏まえ、関係者（減免対象者）と協議を開始

IV 三つの取組（令和9年度開始）のスケジュール（案）

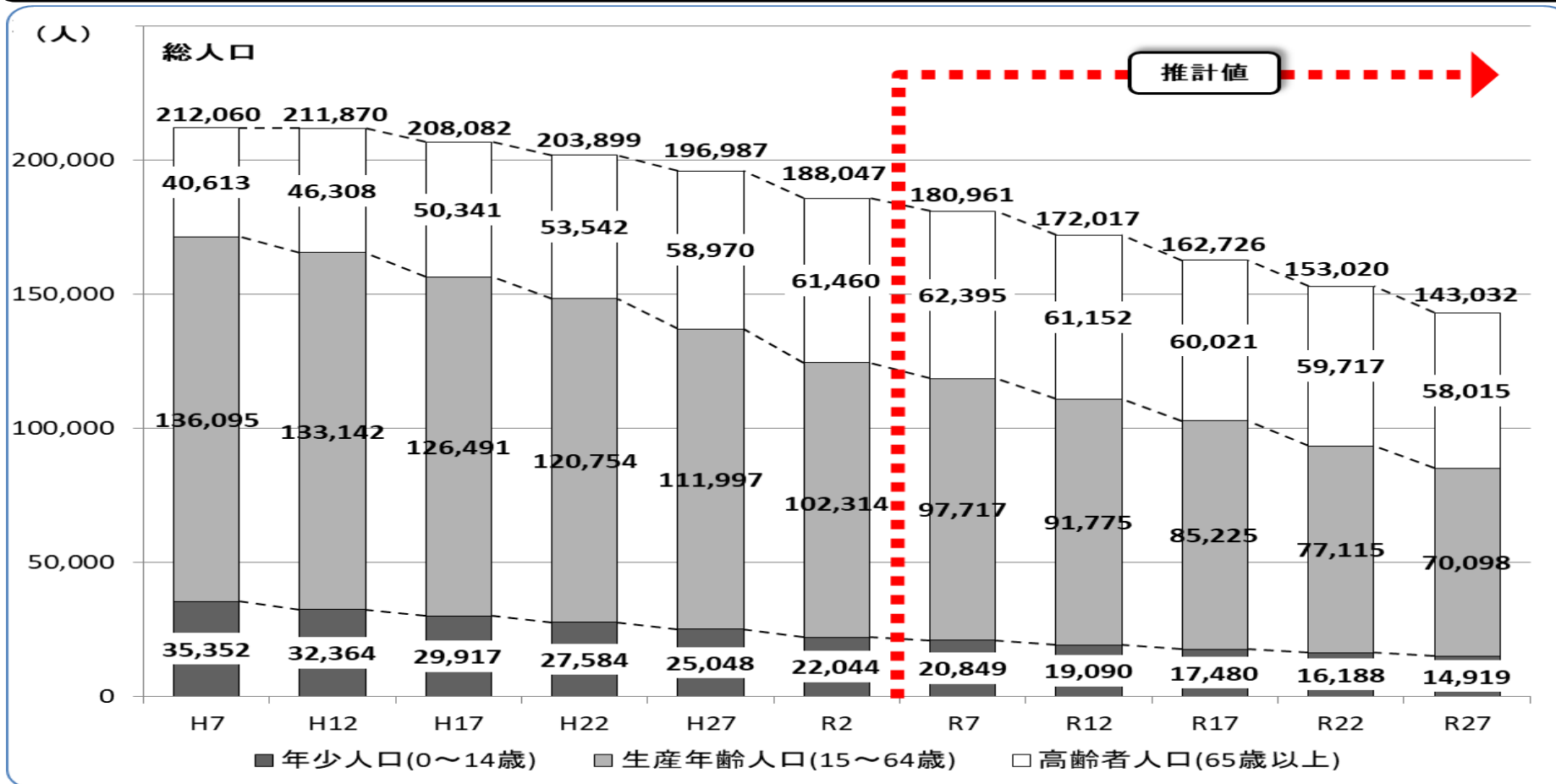
		適正配置	適正管理	使用料
令和 7年度	R8. 2	市議会所管事務調査で各取組の基本的な考え方を説明		
	R8. 3～	地域協議会や利用者向けに基本的な考え方を説明		
令和 8年度	R8. 4～	関係者と協議		
	R8. 7～		地域協議会へ諮問答申	地域協議会へ報告
	R8. 9～	地域協議会へ説明	条例改正議案を提案	条例改正議案を提案
	R8. 10～		利用者への周知	利用者への周知
	R8. 12～	市議会所管事務調査で 計画案を報告 パブリックコメント		
	R9. 2	市議会所管事務調査で 後期計画を説明		
令和 9年度	R9. 4	後期計画の取組実施	適正管理の取組実施	使用料等の見直し

【参考資料】

※上越市公共施設等総合管理計画の主な内容

1 公共施設等を取り巻く現状と課題 … 人口減少

➤ 人口減少や、少子化・高齢化による年齢構成の変化に伴い、市民ニーズの量と質の変化が見込まれる中、本市が所有する各種の施設について、改めて公共関与の必要性や妥当性を精査し、民間等による機能の代替可能性等を検討する一方、行政需要への的確な対応に向け、施設が有する機能等をいかに最適化していくかが課題



出所：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」から作成

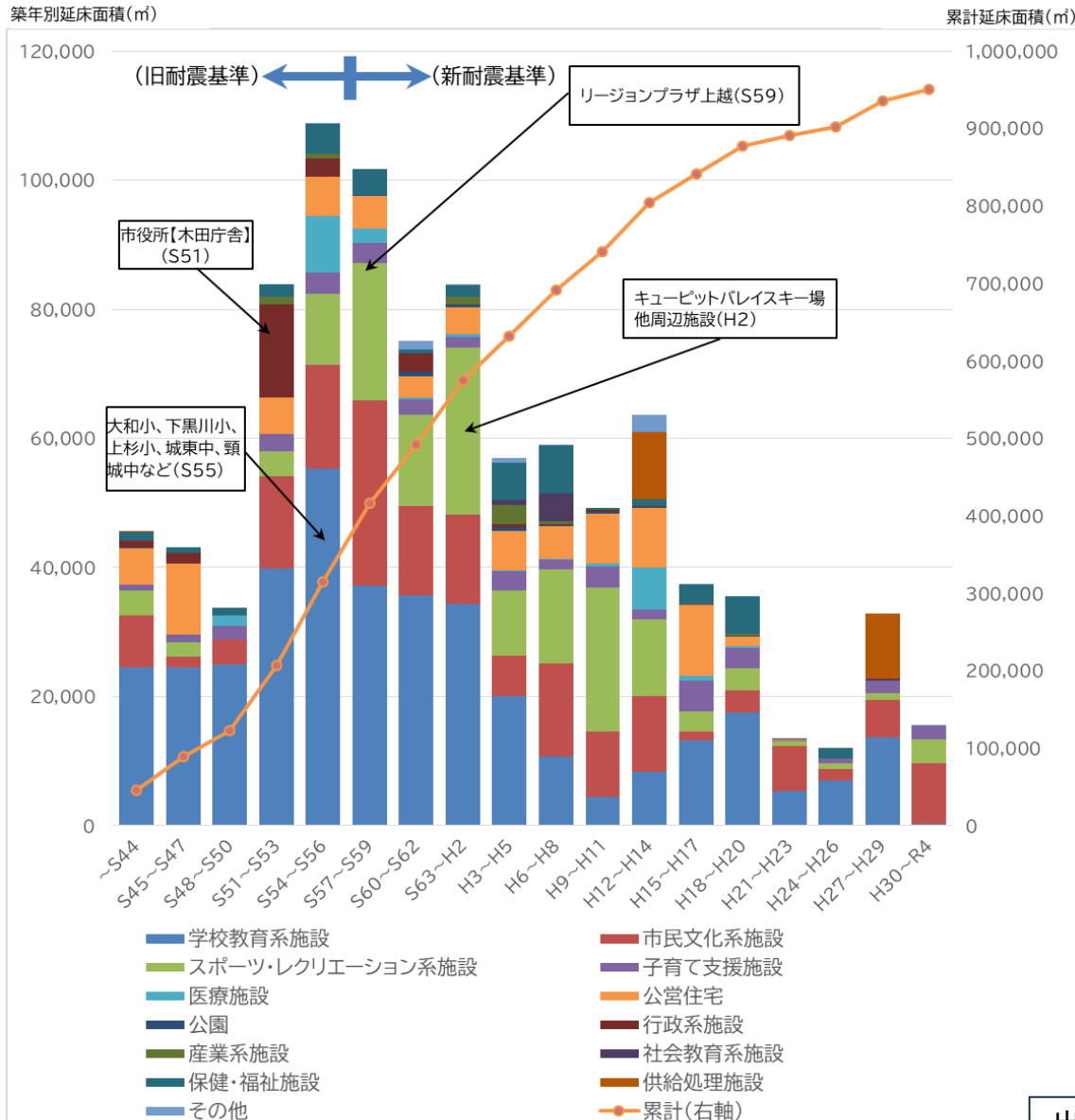
出所：上越市公共施設等総合管理計画（R6年3月改訂）

2 公共施設等を取り巻く現状と課題 … 機能重複

- 合併前の段階において、各自治体がフルセットによる施設整備を進めてきたこともあり、類似施設がいくつも存在する一方、施設の種別によっては、配置に偏りがあるなど不均衡な状況
- 市内各地域の人口動態が異なる中、施設の目的と利用圏域（施設を使用する利用者のエリア）の視点からの整理とともに、地域バランスを考慮した配置をいかに進めていくかが課題

用途	施設カテゴリー	施設数			用途	施設カテゴリー	施設数		
		R7.4.1 時点 (A)	H27.4.1 時点 (B)	増減 (A) - (B)			R7.4.1 時点 (A)	H27.4.1 時点 (B)	増減 (A) - (B)
学校教育系施設	小学校	44	52	▲ 8	産業系施設	食料等販売施設	1	1	0
	中学校	20	22	▲ 2		産業振興施設	2	2	0
	幼稚園	1	1	0		産業関連施設（その他）	2	3	▲ 1
	給食センター	3	4	▲ 1	公営住宅	市営住宅	48	50	▲ 2
児童福祉施設等	保育園	35	45	▲ 10	公園施設	中規模公園	6	11	▲ 5
	児童館	5	6	▲ 1		農村公園	77	78	▲ 1
保健・福祉・医療施設	地域福祉拠点施設	2	3	▲ 1		児童遊園	73	76	▲ 3
	養護老人ホーム、軽費老人ホーム等	3	3	0	基幹的総合施設	6	5	1	
	在宅複合型支援施設	1	1	0	学習施設	7	11	▲ 4	
	高齢者共同住宅、生活支援ハウス	5	6	▲ 1	生涯学習センター	10	12	▲ 2	
	高齢者交流施設	3	7	▲ 4	公民館	40	78	▲ 38	
	屋外ゲートボール場	4	9	▲ 5	地区集会施設	16	23	▲ 7	
	屋内ゲートボール場	8	9	▲ 1	コミュニティプラザ	13	13	0	
	母子生活支援施設	0	1	▲ 1	貸館・交流施設	18	19	▲ 1	
	児童養護施設	1	1	0	社会教育系施設	図書館	4	15	▲ 11
	保健センター	9	11	▲ 2	博物館・文化歴史関係施設	16	16	0	
	医療機関	10	10	0	供給処理施設	廃棄物処理施設	2	3	▲ 1
スポーツ施設	体育館	19	21	▲ 2	その他	無料駐車場	13	14	▲ 1
	野球場・ソフトボール場	8	12	▲ 4		有料駐車場	6	7	▲ 1
	多目的広場・グラウンド	12	13	▲ 1		斎場	2	2	0
	テニスコート	7	13	▲ 6		霊園	4	4	0
	プール	3	4	▲ 1		行政庁舎	4	4	0
	スポーツ施設（その他）	4	4	0		合計	612	762	▲ 150
観光・レクリエーション施設	日帰り温浴施設	5	9	▲ 4	※上記施設数は、条例で定められた公の施設及び市役所等の行政庁舎数。行政庁舎は、市役所、公の施設となるコミュニティプラザに併設されていない安塚・牧・名立区総合事務所をいう。				
	宿泊温浴施設	6	8	▲ 2					
	交流宿泊施設	5	6	▲ 1					
	観光施設	6	9	▲ 3					
	飲食施設	2	3	▲ 1					
	農林水産業振興施設	3	7	▲ 4					
	キャンプ場	2	5	▲ 3					
	市民の森	2	6	▲ 4					
観光・レク施設（その他）	4	4	0						

3 公共施設等を取り巻く現状と課題 … 老朽化、費用等



- 築30年を経過している公の施設が約6割を占めており、今後、施設の躯体を始め設備の老朽化への対応が必要
- また、利用者の安全安心の確保に向け、耐震化への継続的な対応が必要なものに加え、施設のバリアフリー化や省エネへの対応などのほか、エネルギー価格高騰等を踏まえ時代のニーズに即した施設の改修への対応が必要
- 今後、増大が懸念される施設更新費用や維持管理費用の低減化、平準化をいかに図っていくかが課題

出所：上越市公共施設等総合管理計画（R6年3月改訂）

公の施設白書

(令和6年度実績・中郷区抜粋版※)

※全体版は市ホームページでご確認ください

新潟県上越市
(財務部資産活用課)

1 はじめに（公の施設白書の公表の目的）

当市では、人口減少や経済の停滞など社会情勢が大きく変化し、公の施設に求められる市民のニーズも多様化していることから、公の施設の利用者は直近10年で29%減少し、使用料収入は13%減少しています。一方では、施設の老朽化による修繕の多発や物価高騰等により、維持管理経費は直近10年で18%増加しています。

また、全国的な社会問題として、昭和50年代以降に開設された施設の老朽化が進み、今後、一斉に大規模な修繕や更新を迎える中、多くの施設を維持していくことは極めて困難な状況であり、当市も例外ではありません。

このため、将来的にも市民の皆さんが真に必要な施設や機能を安定的・継続的に提供するためには、施設の機能集約や休廃止は避けられない状況であり、次世代の負担の軽減を考慮すると、一刻も早く検討を進める必要があります。

本施設白書は、当市の公の施設に関する理解を深め、建設的な議論を進めていくために、その基礎資料となる施設の現状を取りまとめ、公表するものです。

2 公の施設の現状（全体）

【公共施設等を取り巻く現状と課題 … 利用実態】

- 人口減少等に伴い、施設の利用者数は約28.7%減少している（この間の当市の人口は、H27年1月末200,032人⇒R7年1月末180,207人と約10%減少）。
- 利用者数の減少等に伴い、使用料収入も約5.0億円減と大幅に減少している。
【参考①】 R6年度の使用料＋利用料金…4,367,208千円（H26年度比▲830,942千円（▲16.0%））
【参考②】 R6年度の受益者負担割合（近似値）…34.4%（H26年度比▲14.4ポイント）
- 物価高騰や労務費の上昇等により、修繕料及び工事請負費を除く維持管理経費は約19億円増と約18.0%増額している。
- 公費投入額が約4.7億円減と大幅に減少しているが、これは、大規模改修等に係る有利な起債等（公共施設等適正管理推進事業債）の創設等が要因と考えられる。

	H26年度	R6年度	増減
①利用者数（人）	6,238,217	4,445,144	▲1,793,073 （▲28.7%）
②収入（千円）	4,935,791	6,350,865	1,415,074
③②のうち使用料（千円）	3,775,084	3,271,368	▲503,716 （▲13.3%）
④支出（千円）	13,913,383	14,861,395	948,012
⑤④のうち修繕料・工事請負費を除く維持管理経費	10,650,474	12,565,569	1,915,095 （18.0%増）
⑥公費投入額（千円）【④－②】	8,977,592	8,510,530	▲469,769

※R6年度時点で存在する公の施設のうち、H27年度以降に新設した施設等を除く588施設を基に比較

3 公の施設の現状

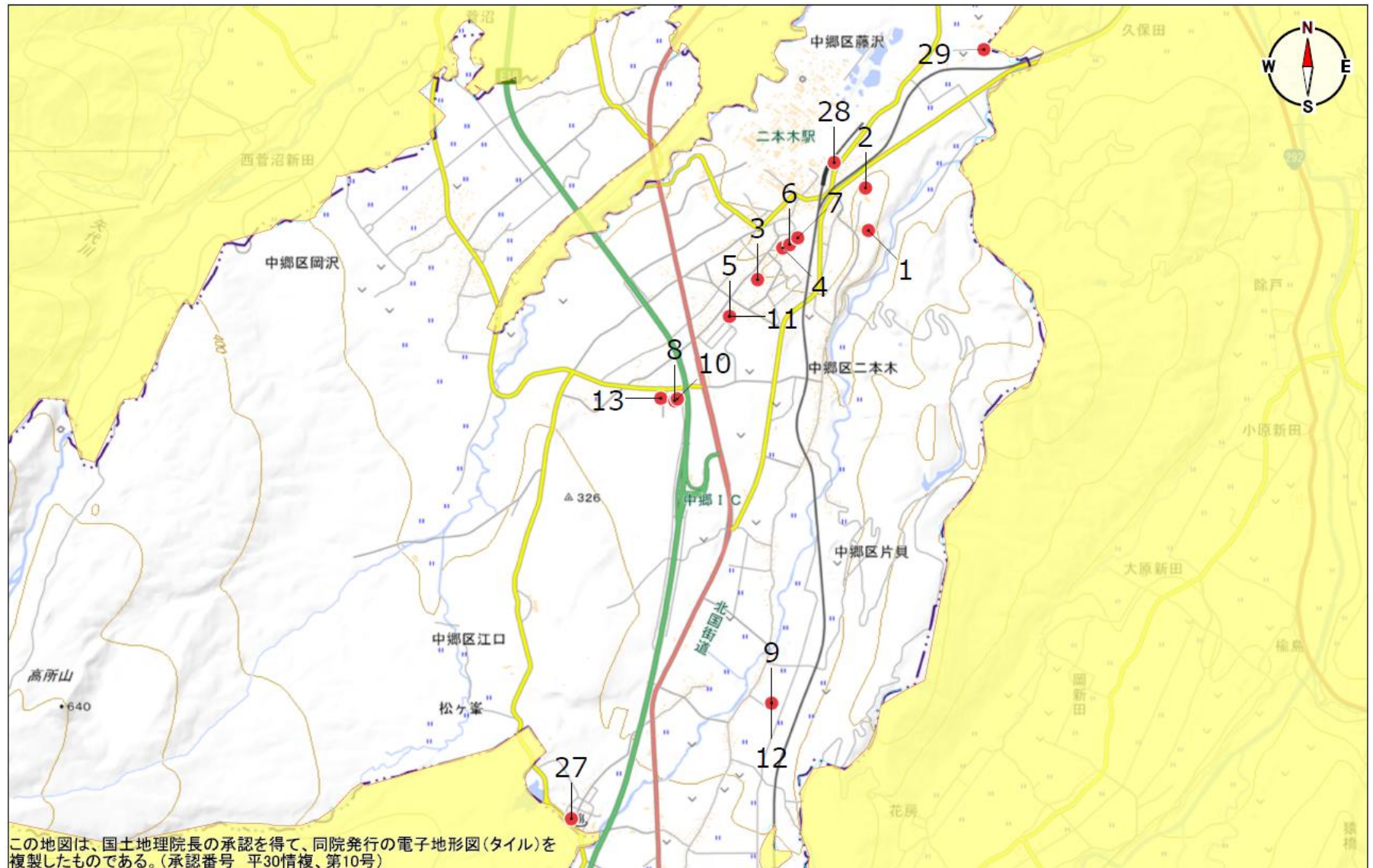
1 施設毎の状況（令和7年4月1日現在）

No.	施設名	施設カテゴリー	構造	経過年数/耐用年数	延床面積 (m ²)	利用者数 (人)	公費負担額 (千円)	利用者1人当たり経費 (円)	管理形態	取組方向
1	上越市立中郷小学校	小学校	コンクリ	33/47	5,279.45	85	31,894	375,224	直営	別の計画等
2	上越市立中郷中学校	中学校	コンクリ	19/47	6,085.46	60	38,509	641,817	直営	別の計画等
3	中郷保育園	保育園	コンクリ	41/47	1,568.49	38	39,045	1,027,500	直営	別の計画等
4	中郷総合運動公園(ゲートボールコート)	屋外ゲートボール場	-	34/-	0.00	84	341	4,060	直営(業務委託)	現状維持
5	中郷保健相談センター	保健センター	コンクリ	39/50	561.15	1,415	2,754	1,946	直営	現状維持
6	中郷総合体育館	体育館	コンクリ	38/47	5,019.69	14,152	5,667	400	直営(業務委託)	現状維持
7	中郷総合運動公園(屋外運動場)	多目的広場・グラウンド	-	42/-	0.00	3,386	399	118	直営(業務委託)	現状維持
8	はーとぴあ中郷	基幹的総合施設	コンクリ	26/50	3,290.54	9,864	25,020	2,536	直営	現状維持
9	片貝地域生涯学習センター	生涯学習センター	コンクリ	35/50	657.24	1,333	5,076	3,808	直営	現状維持
10	中郷地区公民館	公民館	コンクリ	26/50	3,290.54	0	0	-	直営	現状維持
11	中郷コミュニティプラザ	コミュニティプラザ	コンクリ	39/50	751.73	7,825	18,300	2,339	直営(業務委託)	現状維持
12	片貝縄文資料館	博物館・文化歴史関係施設	コンクリ	36/50	2,156.62	2,181	1,973	905	直営	現状維持

No.	施設名	施設カテゴリー	構造	経過年数 /耐用年数	延床面積 (㎡)	利用者数 (人)	公費負担額 (千円)	利用者1人 当たり経費 (円)	管理 形態	取組 方向
13	市営賃貸住宅 さくらハイツ	市営賃貸住宅	コンクリ	28/47	1,308.03	29	-3,156	-108,828	直営	別の計画等
14	片貝農村公園	農村公園	-	32/-	0.00	-	67	-	直営	別の計画等
15	市屋農村公園	農村公園	-	31/-	0.00	-	114	-	直営	別の計画等
16	稻荷山農村公園	農村公園	-	30/-	0.00	-	179	-	直営	別の計画等
17	二本木農村公園	農村公園	-	25/-	0.00	-	117	-	直営	別の計画等
18	藤沢児童遊園	児童遊園	コンクリ	44/-	6.68	-	69	-	直営	別の計画等
19	野林児童遊園	児童遊園	コンクリ	43/-	10.07	-	99	-	直営	別の計画等
20	西福田児童遊園	児童遊園	木造	38/-	7.45	-	50	-	直営	別の計画等
21	八斗蒔児童遊園	児童遊園	-	34/-	0.00	-	64	-	直営	別の計画等
22	岡沢児童遊園	児童遊園	木造	34/-	14.90	-	58	-	直営	別の計画等
23	金山児童遊園	児童遊園	-	53/-	0.00	-	494	-	直営	別の計画等
24	江口児童遊園	児童遊園	-	23/-	0.00	-	43	-	直営	別の計画等

No.	施設名	施設カテゴリー	構造	経過年数/耐用年数	延床面積(m ²)	利用者数(人)	公費負担額(千円)	利用者1人当たり経費(円)	管理形態	取組方向
25	下中嶋児童遊園	児童遊園	-	26/-	0.00	-	9	-	直営	別の計画等
26	福崎児童遊園	児童遊園	-	23/-	0.00	-	59	-	直営	別の計画等
27	中郷松ヶ峯第1駐車場	無料駐車場	-	59/-	0.00	0	0	-	直営	別の計画等
28	中郷二本木駅前駐車場	無料駐車場	コンクリ	5/-	29.36	-	0	-	直営	別の計画等
29	中郷霊園	霊園	鉄骨	34/-	8.81	1,716	114	66	直営	別の計画等
	小計					42,168	167,358	3,969		

2 位置図



基本情報に関する凡例①

1 施設毎の状況

No.	施設名	施設カテゴリー	構造	経過年数 /耐用年数	延床面積 (m ²)	利用者数 (人)	公費負担額 (千円)	利用者1人 当たり経費 (円)	管理 形態	取組 方向
1	●●●●●	●●	●●	●/●	123,456.78	123,456	123,456	123,456	●●	●●

- 「施設カテゴリー」は、主に第4次上越市公の施設の適正配置計画に掲げる施設カテゴリーを使用
- 「構造」は、コンクリ・鉄骨・木造・ーを表記
 - ・コンクリ：鉄筋コンクリート造（RC造）、鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）、補強コンクリートブロック造（CB造）。一部鉄骨造りを含む。
 - ・鉄骨：鉄骨造（S造）
 - ・「ー」：屋外ゲートボール場や野球場・ソフトボール場等、主な用途を備える建物がない施設
- 「経過年数」は、令和7年4月1日現在の施設の経過年数
- 「耐用年数」は、主な建物（構造物）の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」による耐用年数。屋外ゲートボール場や多目的広場・グラウンド等、主な用途を備える建物がない施設は「ー」と表記。
- 「利用者数」は、令和6年度の利用者数
 - ・農村公園や休止施設等、施設の性質上、利用者数を把握できない施設は「ー」
 - ・特定の人が通園、通学する施設は、令和7年5月1日現在の園児、児童、生徒数
 - ・公営住宅や生活支援ハウス等、特定の人が居住する施設は、令和7年5月1日現在の居住者数
 - ・霊園は、利用区画数
 - ・斎場は、利用件数（火葬炉利用件数、動物含む）

基本情報に関する凡例②

No.	施設名	施設カテゴリー	構造	経過年数 /耐用年数	延床面積 (㎡)	利用者数 (人)	公費負担額 (千円)	利用者1人 当たり経費 (円)	管理 形態	取組 方向
1	●●●●	●●	●●	●/●	123,456.78	123,456	123,456	123,456	●●	●●

- 「公費負担額」は、令和6年度の支出額（投資修繕等に係る経費を除いた維持管理経費）から収入額（投資修繕等に係る国庫補助金等を除いた額）を差し引いた額
- 「利用者1人当たり経費」は、令和6年度の公費負担額を利用者数で除した額
- 「管理形態」は、直営・直営（業務委託）・指定管理の別を表記
- 「取組方向」は、第4次上越市公の施設の適正配置計画（計画期間はR3年度～R12年度）で位置付ける施設の取組方向を次のとおり表記。また、「取組方向」において、適正配置計画の対象ではない小中学校や保育園等の施設は「別の計画等」と表記。
 - ・ 現状維持：適正な維持管理を行い、活用すること
 - ・ 廃止：施設の設置条例を廃止すること（公の施設ではなくなる）
 - ・ 休止：施設（機能）の使用を一定の期間止めること
 - ・ 貸付又は譲渡：施設を特定の利用者に貸し付けるか、所有権を民間又は地域等へ有償又は無償により譲り渡すこと
 - ・ 用途変更：施設の設置目的を他の目的に変更すること
 - ・ 後期に適正配置：計画後期（当初はR8年度～R12年度でしたが、R9年度～R12年度に変更しました）に適正配置を実施すること
 - ・ 引き続き協議：取組の方向性を地域住民等と引き続き協議し方向性を決定すること

2 位置図

- 位置図上の番号は、「1 施設毎の状況」の表中のNo.の施設を表記している。
- 建物がない公園施設は、位置図を省略している。

中郷コミュニティバス「さくら号」運行状況

資料No.4
中郷区地域協議会
R8.3.23

R8.3.19現在 回数券購入の実人数53人(前月末+1)※中学生は実人数の集計には含めない11人が購入

回数券 販売		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	販売数		55	17	6	15	15	9	11	18	28	22	20	16
金額		165,000	51,000	18,000	45,000	45,000	27,000	33,000	54,000	84,000	66,000	60,000	48,000	696,000 円

利用 件数	回数券	105	123	114	153	134	121	135	114	135	71	113	115	1,433 件
	現金	10	4	2	6	6	4	4	0	8	0	10	5	59 件
	中学生									42	144	139	57	382 件
	件数計	115	127	116	159	140	125	139	114	185	215	262	177	1,874 件
	料金計	36,500	38,900	35,200	48,900	43,200	38,300	42,500	34,200	44,500	21,300	38,900	37,000	459,400 円

曜日別 利用 件数		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内		妙高市		区内	妙高市	
	月	0	6	2	9	2	11	0	8	0	11	0	2	0	16	0	9	0	10	0	4	1	5	0	8	5	99 件	
	火	6	43	7	35	16	30	4	51	8	45	8	37	9	21	7	22	9	25	9	14	11	20	13	22	107	365 件	
	水	0	16	1	8	1	12	0	18	0	14	0	6	0	17	0	15	2	16	0	8	2	8	3	14	9	152 件	
	木	7	26	5	45	5	31	4	58	9	34	6	58	5	58	5	40	9	60	2	32	7	46	8	38	72	526 件	
	金	0	11	0	15	2	6	0	16	2	13	0	8	4	9	0	12	0	12	0	2	3	20	2	12	13	136 件	
	土日									4						4											8	0 件
	中学生																			42		144		139		57	382	- 件
	計	13	102	15	112	26	90	8	151	23	117	14	111	18	121	16	98	62	123	155	60	163	99	83	94	596	1,278 件	
	合計	115		127		116		159		140		125		139		114		185		215		262		177		1,874	件	

【注意】「土日」は、通常の運行ダイヤにはない区内イベント用の特別運行の利用実績
「中学生」は遠距離通学支援の対象となる岡沢地区の生徒13人を対象に、R7.12.17から運行を開始

月曜日：南・西地区新井病院便／北地区区内巡回便
火曜日：中・東・北地区新井病院便／東・南地区区内巡回便
水曜日：南・西地区新井買い物便／中地区区内巡回便
木曜日：中・東・北地区新井買い物便／西地区区内巡回便
金曜日：中・東・南・西地区関山便

東地区(坂本・二本木・松崎・五反田)
西地区(岡川・岡沢・福田)
南地区(市屋・片貝・福崎・江口・稲荷山・宮野原・松ヶ峯)
北地区(板橋・藤沢・三ツ屋)
中地区(江端・金山・四ツ屋・下中嶋・八斗蒔・さくらハイツ・野林)



令和7年度 第6回中郷区子どものい～場所開設事業 実施報告

資料No.5
中郷区地域協議会
R8.3.23

- ・開設日：令和8年2月2日（月）
- ・開設時間：午後3時～午後5時30分
- ・開設場所：中郷コミュニティプラザ
- ・送迎者運転員：2人
- ・見守り者：8人（振興会4人、事務所2人、地域協議会委員2人）
- ・参加者：32人（中学生の参加者なし）

	日付・会場	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
1	9月25日（木） 片貝縄文資料館	6	6	3	0	7	2	24
2	10月27日（月） 中郷コミュニティプラザ	6	7	5	0	6	3	27
3	11月17日（月） 中郷総合体育館	7	6	8	1	8	5	35
4	12月17日（水） 中郷総合体育館	8	7	8	1	9	5	37
5	1月22日（木） 中郷総合体育館	8	5	5	0	10	3	31
6	2月2日（月） 中郷コミュニティプラザ	7	5	7	0	9	4	32

【参加申込について】

- ・追加申込や当日欠席があったが、問題なく対応できた。
- ・学校へ迎えに行った際に児童から参加申込に関する問合せがあった。

【送迎について】

- ・学校から会場までは、リース車両、コミバス「さくら号」2台2往復で対応した。
- ・会場から自宅までの送り希望者は18人おり、リース車両、振興会所有の軽自動車の2台で対応した。第1便は午後5時に、最終便は午後5時25分に出発した。

【見守りの状況・子どもたちの様子について】

- ・鬼ごっこ、ブロック、お絵かきをして遊んでいた。
- ・忘れ物（筆箱2つ）があったため、自宅へ届けた。
- ・緊急時に対応できる備品を揃えた（ビニール袋、手袋、タオル、消毒等）
- ・怪我等はなし。

コミュニティバス「さくら号」

- ・「予約不要なところや自由乗降ができるところが良い」、「生活の足として役立つ」、「運転手さんが親切」いった前向きな声が多数あり。
- ・ルートの見直し、時間帯（通学・午後）、増便、中高生の利用、料金設定、周知方法などの提案もあり。

【代表的な意見】

- ・「予約がないのはすごくいい。登下校で300円は少し高く感じる」
- ・「通学・買い物等の時間帯とルートを細部まで検討しては」
- ・「子どもの習い事の送迎にも対応してもらえると嬉しい」
- ・「住民への周知が行き届いていない」
- ・「(中学生は) 遠い地区の子は迎えが必要。年中通してのバス運行は難しいか」

子どもの い～場所開設事業

- ・「子どもが楽しみにしている」「送迎があり助かる」「保護者の安心につながる」など、継続・拡充への期待が強い。
- ・開催頻度（例：月2回）、中学生向けの学習支援、一定のルールづくり等の提案。安全面への配慮継続の提案もあり。

【代表的な意見】

- ・「利用児童全員が楽しめている。継続してほしい」
- ・「月2回の開設があると楽しみが増える」
- ・「子どもが集まる場所とコミュニティバスが協働できると良い」
- ・「中学生向けの学習支援などがあればありがたい」
- ・「子どもたちの怪我には十分注意が必要」

い～住プロジェクト

- ・「現状と課題を共有できた」「若手の発表が分かりやすい」「地域が一体で進める姿勢が良い」などの共感的な意見が多数あり。
- ・移住・U/I ターン的具体策（経済的支援、仕事・住まい情報のわかりやすい提供）、空き家活用（ルール／リフォーム／町内会との連携）、情報発信の強化（区外にも届く発信）、除雪や暮らしの基盤整備などの提案もあり。

【代表的な意見】

- ・「中郷の未来のためのプロジェクト、良い方向に進んでほしい」
- ・「移住者の増加も大切だが、中郷からの転出を防ぐ対策はないか」

R8.3.7 活動報告会 アンケート結果（概要）

- ・「U・I ターンが多い地域は、子育て世帯への金銭的な支援が手厚いイメージがある。中郷区独自で何かできないか」
- ・「移住者の受入れのルール作りが急務であると感じた」

意見交換会

- ・「発表を受けて具体的に考えられた」「地域の資源を活かす方向で話せた」といった、建設的な感想が中心。

【代表的な意見】

- ・「子どもたちが集まれる場所とコミュニティバスが協力して何かできればいいと思った」
- ・『遊びの王国 なかごう』の看板を見たことがある。中郷の良さをもっと発信できたら、『住みたい・観光したい』が増えると思う」
- ・「現状の活動が“喜ばれている”ことが伝わった。周知を増やすことで参加者も増えるのでは」
- ・「今後年を取った後を考えると、中郷での暮らしは不安でしかないです。若者が中郷をはなれる気持ちはよくわかります」

その他

- ・「よく分かった」「チャレンジが伝わった」「これからも頑張ってもらいたい」といった応援・激励の声が多数あり
- ・空き家・仕事（就労環境）に関する視点のほか、景観・道路などのインフラ整備や区外との移動利便といった、暮らしの基盤に関わる提案もあり

【代表的な意見】

- ・「役員の担い手が長期化する中で、住みにくい地域にならないようにしていただきたい」
- ・「多くの方が考えていることを具体的に実行していただき、ありがとうございます」
- ・「子どもと高齢者向け対策は十分。一方で、働き盛り世代が引っ越す要因（利便性や教育機会）への対応も検討を」

R8.3.7 活動報告会 アンケート結果（全体）

No.	性別	年代	住まい	コミュニティバス「さくら号」	い〜場所開設事業	い〜住プロジェクト		意見交換会	その他
						良いなと思った点、疑問に思った点、実現するためのアイデアなど	令和8年度に取組む内容の中で参加、ご協力いただけるもの		
1	男	30代	区内	とても良い取組だと思いました。	子どもの集まれる機会をつくれるところが良いと思います。	若者が来たいと思えるイベントなどがあるとよいと思います。	—	—	—
2	男	30代	区内	—	利用児童全員が楽しめている。我が子も楽しみにしているため、引き続き継続していただきたい。	空き家になったと思ったら、すぐに外国人に買われてしまう（民泊経営者）。	—	—	—
3	男	30代	区内	子どもの習い事の送迎にも対応してもらえると嬉しい（い〜住プロジェクトともからめて）	—	—	—	—	—
4	女	30代	区内	予約がないのはすごくいいと思います。登下校でも300円というのは少し高く感じます。	子どもたちが大変楽しく喜んで行っています。月2回の開設があると楽しみが増えて、元気に過ごせるかなと思います。	テレビで見るとUターン・Iターンが多い場所は子育て世帯への金銭的支援が手厚いようです。私も妙高市から上越市中郷区へのUターン者ですが、妙高市の方が手厚かったなと思うことがよくあります。中郷独自で何かあればな…と思います。	—	—	—
5	男	40代	区内	あまり乗車するところを見ないが、続けてもらいたいです。	子どもは楽しみにしている時が多いです。ありがとうございます。	空き家に関しては、お金問題が大きいと思います。外国の方に買われてしまうのがオチにならないように、メリットをださないといけないと感じます。	—	魅力という点では妙高市に挟まれている以上、中々難しいと感じます。今回の物価高支援も妙高に住んでいるのと変わらないのに、妙高の店を多く利用しているのに支援が見劣りしているように思うとの声は多数…	各所、役員の年齢水準が下がり、長期間役員をすることになるであろう今後、住みにくい地域にだけはならないようにしていただきたいです。区に感じる人も多いと思います。いろいろ予定もあるので、終了時間は予定通り合わせてください。
6	男	40代	区内	困っている方のために続けてほしい。	子どもが楽しみにしていることがよかったです。	企画がスタートしてよかった。	—	—	—
7	男	40代	区内	ワンマンバスが無くなり、移動に困っていた人達の助けになっているところがよい。	子どもたちの遊ぶ場所が減っているのので、子どもたちの遊ぶ場所が増えたのが良い。	移住者を増やす計画はよい。商店を活用したらよいのでは！	「い〜場所」「こ食」の継続 旧岡沢小・旧片貝小・はーとびあ中郷・総合体育館の活用検討 食のアンケート	—	—
8	女	40代	区内	中学生も利用していることを始めて知りました。	中学生の参加率はどれくらいなのか知りたい。あまり参加していないイメージです。学習支援などがあればありがたいです。	若者が集まれる場所があると子どもたちも集まりやすいと思います。カフェ・Wi-Fi完備があるとすごくいいと思います。	—	子どもたちが集まれる場所とコミュニティバスが協力して何かできればいいと思った。	—
9	女	40代	区内	4月から6年生、上に2人高校、大学となり、中郷中学校を卒業しています。中学生は冬しかバスがないため、ほとんどの子が朝・夕と送り迎えです。遠い地区の子は必ず迎えが必要です。年中通してのバス運行は難しいでしょうか。	とても喜んで参加させていただいています。親としてはバスで家の近くまで送ってくれることが一番助かっています。	—	—	—	—
10	女	40代	区内	高齢者の利用に免許がなくても便利。もっと利便性を高めるためには、複数ルートや時間や増便ができれば良いと思いますが、コスト面でも負担が増えることが課題となる。	送迎があるのは大変良いと思う。	転出理由に挙げられる地域のやむを得ない現状（雪など）がありますが、住んだら住みやすいところもたくさんあると思うので、このプロジェクトで多くの方が移住してくれたらいいと思います。	—	「遊びの王国 なかごう」という看板を見たことがあります。もっとたくさんいいところをアピールできれば、住みたい、観光したいが増えると思います。ありがとうございます。	—
11	女	40代	区内	新井や関山方面以外にも中郷区内の移動（例えば岡沢⇄板橋、岡沢⇄駅⇄板橋）があると区内での交流ができる。	子どもが楽しく過ごせる環境がありがたい。春から企画していただけると嬉しい。	中郷の未来のためのプロジェクト、良い方向に進んでほしい。若者だけでなく、様々な年齢層の方にもヒアリングして中郷一体となって地域を盛り上げて中郷を住みやすくしてほしい。交通の不便の解消を希望。	—	—	—

No.	性別	年代	住まい	コミュニティバス「さくら号」	い〜場所開設事業	い〜住プロジェクト		意見交換会	その他
						良いなと思った点、疑問に思った点、実現するためのアイデアなど	令和8年度に取組む内容の中で参加、ご協力いただけるもの		
12	女	40代	区内	利用方法が良く分からない。現金で支払う場合1回500円は高い。運行ルートがいまいち分からないが、時刻が合えば子どもの駅までの送迎などで利用したい（春から高校生のため）	我が家は小学校の子どもがいますが、い〜場所を利用していません。我が家にはそんなにメリットを感じないからです。	—	—	私は生まれも育ちも新潟市で、中郷区に住み15年くらいになりますが、今では環境にも慣れ、知り合いもでき、楽しく暮らしていますが、中郷区で住み続けるということは、とても不便で大変だと思います。いまは夫も私も40代で動ける体ですが、今後年をとったことを考えると中郷での暮らしは不安でしかないです。問題も山積みです。若者が中郷を離れる気持ちはよくわかります。	今後もよりよい中郷区にするために、がんばってください。
13	男	50代	区内	市民が主体となって運営していることが、要望に応えることができるいい流れを生み出していると思います。	子どもの過ごしやすい環境をつくることを地域が協力して行っているのが素晴らしいです。	地元の若い人たちの危機感が伝わってきたので、質の高い受け入れ体制が期待できます。	食のアンケート	—	—
14	男	50代	区内	多くの方が利用されているのだなと思った。	子どもたちが喜んで利用しているのだと思った。	空き家を利用するいいアイデアだと思う。	—	いい取組みでした。	—
15	男	50代	区内	便利になってよかった。	みなさん議論していただき、子どもが喜んでよかったです。	人が少なくなっていて役員等の人が限られて負担が大きい。何かをやることも大事だがやることを少なくするのも大事。	—	—	中郷区をよくするためにいろいろチャレンジしていることがよく分かりました。
16	女	50代	区内	高齢者の利用が定着してきましたら、中高生の登下校での利用を視野に入れてほしいと思います。	子どもたちが楽しめる場所を開設していただくのはとてもよいと思います。今後も利用者の意見を聞きながらい〜場所であり続けてほしいです。	中郷は子育て世代にはとても手厚いと思います。アピール方法など考えていけたらいいと思います。	—	—	—
17	女	50代	区内	これからも利用者さんの意見を聞きながら継続していただけたらと思います。	自由に過ごせる場所は子どもたちのびのびとした姿が印象的でした。今後は継続と共にある程度のルールなどを決めておいた方がいいのでは？	これからの中郷に移住・Uターンの方が増えたらいいなあと思いました。中郷の良いところをアピールする良い機会だと思います。	—	—	—
18	男	60代	区内	運転手がとても親切で思いやりのある行動をしていることが分かる。	—	中郷区2025年の人口ピラミッドが良かった。各集落の人口ピラミッドと合わせて考えることがとても大事になることが分かった。	—	—	—
19	男	60代	区内	—	—	—	—	空き家の活用方法？	—
20	男	60代	区内	利用件数が目標に近いとの事でよかったと思います。ルートの希望を取ることで可能なら増便で利用者が増えるといいですね。	大変だと思いますが、子どもたちの怪我には十分注意が必要です。	住みたいと思う動機は、それぞれあると思います。取組を決めるのは大変だと思いますが、自分の考えとして1つは、経済的に安心できることが大切だと思います。	—	現状の活動でも利用されている人から「喜ばれている」ということを聞けました。周知活動を増やすことで参加する人が増えるといいですね。	多くの人達が考えていることを具体的に実行していただき、ありがとうございます。可能な範囲で協力させていただきます。
21	男	60代	区内	—	—	—	—	—	—
22	男	60代	区内	—	—	—	—	—	—
23	男	60代	区内	—	—	—	—	子どもを産み育てる世代が住みたいと思える地域が必要です。何が足りないかを考え、対策を打てればよいと思います。仕事場として適しているか（仕事があるか）生活の場として適しているか（買い物や楽か）、少子化と言われ始めて数十年経過し、これから子どもが増えることはありません。区外からの移住を進めることが区の人口を増やすこととなります。そこで必要なのは、上段に書かせていただいたことだと思います。	子どもと高齢者向け対策は十分だと思います。生活に対する不便さから働き盛りの家族が引っ越ししたりしています。関東方向への行き来をしやすくして、体験、教育格差をなくす様な対策をご検討ください。労働人口の減少から中郷へ帰ってくるときは、定年後になってしまうこととなります。仕事も含めてそういう方の受け入れができるようにご検討ください。
24	男	60代	区内	どこでも乗れる、どこでも乗車できることが良い。	来た子どもたちは、いっぱい遊ぶことができていようよかった。	中郷の住みたいところ、住めるところを発信する。	—	さくら号のルートと時刻表の案内を全戸に届くようにしてください。	報告会は良い事と思います。空き家対策を人口増加に繋げるために、住む人を連れてこられるとよい。
25	男	60代	区内	板橋です。病院に通院している人からは大変好評です。引き続きよろしくお願ひします。	—	—	—	—	—
26	男	60代	区内	今まで利用したことはありませんでしたが、今後利用せざるを得ない状況になる可能性があるため、今後も続けてほしいと思いました。	子どもたちの居場所が大事なことは理解できましたので、子どもが元気に育つ場所をこれからも提供してほしいです。	人口減少、高齢化は切実な問題となっているのが数字によりよく分かりました。何らかの対策は早急に必要だと思います。	—	特にありません	がんばってください！
27	男	60代	区内	—	—	移住者の受け入れのルール作りが急務であると感じた。	—	—	—

No.	性別	年代	住まい	コミュニティバス「さくら号」	い〜場所開設事業	い〜住プロジェクト		意見交換会	その他
						良いなと思った点、疑問に思った点、実現するためのアイデアなど	令和8年度に取組む内容の中で参加、ご協力いただけるもの		
28	男	60代	区内	中学生以下、75歳以上はワンコイン100円で乗れるようにしてはどうか。	大人たちが計画を立てて定期的に昔の遊びを伝えたらどうか？（メンコ、ゴムとび、あやとりなど）	宅地増設（中郷グラウンド前空き地、新道東の敷地、二本木駅周辺など）全てで100区画目標。 移住の特典（妙高市は転入者に100万） →中郷区では毎年申請1人につき、60kgの米券プレゼント	—	—	—
29	男	60代	区内	使用してみたいです。	—	—	—	—	—
30	男	60代	区内	中郷区の人口ピラミッドを見ると今後利用が増えるように思う。それまで存続させたい。	子どもの笑顔はみんなを元気づける。頻度をもっと増やせるとよいと思った。	空き家が利用できれば良いと思うが、掘り下げた需要分析等が必要かも。	旧岡沢小・旧片貝小・はーとびあ中郷・総合体育館の活用検討 空き家・空き地情報の収集	地域協議会の行っていることが知れてよかったです。	頑張っていることに頭が下がります。もっと地域を巻き込みましょう。
31	男	60代	区内	素晴らしい取組で感激しました。	子どもにとっても大人にとっても居場所があるかないかは、生きることそのものに関わることだと思います。中郷区の子どもは幸せだと思いました。	地域の魅力の発信をもっともっと必要だと思います。	—	景観は子どもだけでなく大人（老人）にとっても大切です。冥土の土産にもなります。	産業道路の整備を協議会として取り組んでいただきたい。自衛隊、県、地権者との連携のもと、日本を代表とする景観地に育てていく役割を担っていただきたい。
32	男	60代	区内	藤沢ですが、木曜日にまず1回利用してみようと思った。	—	旧岡沢小の利用は可能か？	—	松ヶ峯温泉の活用。以前のひばり荘のような活用はできないものか。	—
33	男	60代	区内	利用するにあたり、要支援者等への対応はできるのか。	良い事を行っていると思います。	移住者の中に家庭菜園をしながら生活をしたいという方がいた場合、農地を取得する場合、農業委員会の許可が必要なので、その点も考えて対応しなければならない。	—	—	大変素晴らしい活動をしていると思います。これからも素晴らしい活動をお願いします。
34	男	60代	区内	このまま続けてもらえれば良いと思う。	—	—	—	—	—
35	男	70代	区内	利用者の声がとても好評ですね。	「放課後児童クラブ」とは違うんですね。子どもの数が少なくなって集まれる場所が欲しいですね。送迎は正解ですね。	5年毎に500人の人口減、1年で100人の減なのですね。	—	—	—
36	男	70代	区内	住民への周知がまだ行き届いていない。	大変良いと思う。	—	—	—	—
37	男	70代	区内	中学生の利用が開始されたのはよかった。通学・買い物等、時間帯とルートを細部まで検討してはいかかでしょうか。	子どもたちの居場所は難しいでしょうが、予算化もう少し増額してもらえるようにしてはどうか。	リフォーム業者さんと連携するような体制にしては？	—	—	相互の関連を良くして風通しの良い活動を期待します。地元企業さんとの企画等を多くしてはどうか。
38	男	70代	区内	収支を一番に考えた運行なので、高校生や午後の運行ができてほしい。	回数を増やす毎に参加者が増え、元気な声が嬉しい。	必要で重要なプロジェクト。リフォーム・除雪助成など必要であるが、財源確保ができるのか。 観光道路桜育樹プロジェクトで中郷をもっと魅力増加する。	—	—	—
39	男	70代	区内	ずっと続くように、何かあったら手伝います。	送迎あるのが良いですね。	情報の共有が大事だと思います。	—	活動の起点となる会になりそうでよかった。	—
40	男	70代	区内	長くあってほしい。	—	いろいろなヒアリングが大事だと思う。アイデアが大事。	—	—	—
41	男	70代	区内	個々の目的地に合わせ、また、希望する時間に合わせた運行が必要と思うが、予算的、人的等の問題はあり、難しいと感じます。ただ、試乗体験等を検討してはいかかでしょうか。	子どもの減少に伴い、参加者を増やすことは難しいのでは。スポーツばかりでなく、ゲーム遊びを中心にしたりはどうか。	移住者の増加も大切ですが、簡単に中郷から転出する人が多いので、引き留める何か対策はないでしょうか。	—	—	—
42	男	70代	区内	—	—	農業部門はビレッジプランとしてスタートしています。できることから実施してはどうですか。ビレッジプランでは関係人口を増やすため、日曹や東京有楽町マルシェに参加して、中郷の魅力をアピールしています。 桜については、ソメイヨシノは60年で寿命です。雪に強い枝垂れ桜を植栽してはどうでしょうか。	—	—	—
43	男	70代	区内	—	—	先行きに不安に思っている点について、方向性を示してくれている点に感謝します。今後の進展に期待します。	—	—	—
44	男	70代	区内	利用に伴うルート問題、運行時間問題、検討が必要ではないか。	中学生にも広げられないか？	外国人の対応	—	—	—
45	男	70代	区内	—	—	松ヶ峯温泉施設を起点の建物（事務所など）として利用しつつ、まわりにキャンプ場等の観光施設を開設できないか。	—	—	文化的観点の活動を支える施設として、旧岡沢小・片貝小を利用できないか。
46	男	30代	区外	冬場の学生の通学手段になっているということで、素晴らしい取組だと感じました。	子育て世代の助けになっている取組だと改めて感じました。	—	—	—	—

No.	性別	年代	住まい	コミュニティバス「さくら号」	い〜場所開設事業	い〜住プロジェクト		意見交換会	その他
						良いなと思った点、疑問に思った点、実現するためのアイデアなど	令和8年度に取組む内容の中で参加、ご協力いただけるもの		
47	男	40代	区外	予約不要で都合の良い場所で乗り降りできるバスは素晴らしいと思う。これからずっと続いてほしい。	子どもたちが遊び、交流できる場所がさらに増えることを願います。とても良い取組だと思う。	このプロジェクトは情報発信が大切だと思います。中郷区外の人たちへも知ってもらうことでさらにプロジェクトを進めるパワーが生まれてくると思います（様々な面で）。	—	—	—
48	男	50代	区外	ルート設定、高齢者、生徒など使う方に寄り添っていることが分かった。	子ども目線でさらに取組が進められることを願っています。	難しい問題を共有できたのがよかった。	—	各町内会、利用者の生の声が聞け、要望に応えていく雰囲気があったよかったです。	—
49	男	50代	区外	客は多くなくとも、重要な足になっていることがよく分かりました。個々のニーズの把握は大変と思いますが、がんばってほしいです。	放課後の子ども同士の交流（ネットではなく）の場があるのは素晴らしいです。子どもも「さくら号」を使えると…と思いますが、難しそうですね。	地元を愛する子を育てることが大事ですね。良い（楽しいだけではない）思い出を積み重ねていけるとよいと思います。	—	—	—
50	男	50代	区外	予約なし、自由乗降できる点が良い。	子ども、保護者とも好評なのが素晴らしい。	—	—	ざっくばらんに意見を言える雰囲気作りがよかった。	令和8年度の様々な取組みが実を結ぶことを期待します！
51	男	50代	区外	地域住民の足となる「さくら号」今後も長期的に運用できるようにした方が良い。	小学生にとっては、とてもよいコミュニティスペースとなっているので、今後も継続的に開設を希望します。	—	—	実感のこもった意見が出て、より具体的な方向や対応策が見えたように思う。	—
52	女	50代	区外	他区ではなかなか運行が浸透せず（知名度が上がらず）苦戦しているお話もお聞きします。なぜこれだけの利用者があるのかが知りたいです。「車内での会話が楽しみ」＝「買い物の一つが暮らしでありレジャー」でもあるのですね。	送迎があるのは保護者も安心だし、助かるサービスだと思いました。雪が多い中郷ではびったりの事業ではと思います。こういう思い出や大人への感謝があるから「また戻ってきます」という答えが生まれるのですね。	「10年後には…」の数字は皆さん驚かれたのではないのでしょうか。若い桐山委員が発表されていたことはとてもいいと思いました。とても聞きやすく、内容も分かりやすかったです。高橋委員もベテラン代表でナイスでした！	—	—	30代くらいと思われる若い方や、女性も多く参加されていたのは印象的でした。あまり他では見られない気がします。年代に関わらず、みんな発表内容に真剣に聞き入っており、「自分事」として考えていらっしやっただと思います。たくさん学ばせていただく報告会でした。ありがとうございました。総合事務所の皆さんも含め、いつもお疲れ様です。いいチームですね。
53	女	50代	区外	利用者の声を聞き、答えている点がよかった。	学校と違う場所で地域でコミュニケーションの場を作り、子どもが喜ぶことを地域の皆さんで協力し合っていることがすばらしい。体制作りはどうしているのか。	すぐにできること、難しいことではないこと、「誰か」でなく「一人ひとり」が行動することを会場の皆さんには伝わっていたと思います。地域の活動を地域に届けることが、行動を起こすきっかけとなると思います。	—	—	—
54	男	60代	区外	素晴らしい取組だと思うが、収支についても知りたかった。	人数が目的ではないというところが良い。	たくさんの協力団体と繋がって活動するところが素晴らしい。	—	—	—
55	男	70代	区外	—	子どもたちの一体感が感じられた。	いろいろな団体がひとつのベクトルに向かって歩んでいるように感じられた。	—	協議会のメンバーがい〜住プロジェクトの議題を進めるには相当な時間を要すると思う。地域協議会は月に1回の会議がベースであることからメンバーのコンセンサスはとれているのでしょうか。	150名以上の方が参加されていたことに驚いた。中郷区を何とかしたいと思っている住民が多いことに感動した。
56	男	70代	区外	実証検討され、改善された様子がうかがえた。	—	思いの伝わる良い報告だった。10年先を考えたの計画をつくって進めることは参考になった。移住について真剣に考え、取り組もうとする気持ちが伝わった。	—	—	—

「い～住プロジェクト」令和8年度スケジュール(事務局案)

資料No.8
中郷区地域協議会
R8.3.23

3本柱	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子どもが育ち、“大好き”が続く地域づくり	若者へのヒアリング	・対象者の選定、呼びかけ ・実施方法の検討		ヒアリングの実施	ヒアリング結果のまとめ								
	「い～場所」「こ食」事業の継続	R8・9年度の事業改善に向けた協議						R9年度予算	R8年度の実績を踏まえた、R9・10年度に向けた課題等の整理				
	旧岡沢小・旧片貝小・はーとびあ中郷・総合体育館の活用検討								各施設の活用について検討				
帰ってこれる地域づくり ～一人ひとりに役割(出番)がある中郷～	空き家・空き地の情報収集	町内会から空き家情報の収集(総合事務所で実施中)		空き家の現地調査(総合事務所)	・空き家情報のリスト化 ・空き家情報の活用方法について検討 ・空き地情報の収集方法について検討								
	移住者(U/Iターン者)ヒアリング	・対象者の選定、呼びかけ ・実施方法の検討		ヒアリングの実施	ヒアリング結果のまとめ								
	区内、近隣地域求人情報の集約										求人情報の集約方法について検討	求人情報の集約(各企業への問合せ)	
	情報発信ツール(HP・SNS・LINE)の統合と仕組みづくり	・発信する情報の検討、情報の収集方法の検討 ・発信者の選定(体制の整備)					R9年度取組内容の具体	R9年度予算の提案	・発信する情報の収集				
集い、楽しみ、誇れる地域づくり	食のアンケート(季節×食材)	・対象者の選定 ・実施方法の検討		アンケートの実施	アンケート結果のまとめ	アンケート結果の公表							
	情報発信ツール(HP・SNS・LINE)の統合と仕組みづくり	・発信する情報の検討、情報の収集方法の検討 ・発信者の選定(体制の整備)					R9年度取組内容の具体化	R9年度予算の提案	・発信する情報の収集				

↑
令和9年度 地域独自の予算事業提案〆切(9月末)